

さんぽく



【笹川流れて夏を満喫】

トピックス

- さんぽく子ども通信
 - 小・中学生の「クリーン作戦」
 - 小学生の「さんぽく科」の様子
- 正直ど〜お？山北の日々
 - 地域おこし協力隊、集落支援員の取り組み
- 山北Lifeな人
 - ふるさとの人に、お惣菜で喜んでほしい

2023

8.15



さんぽく健やか通信



～保健師・栄養士からのお知らせ～

みなさんこんにちは。今年度の保健師・栄養士・社会福祉士メンバーを紹介します。健康、食事、介護に関することなど、何かありましたら下記職員にご相談ください。

担当：中俣、下海府地区
山北3年目です。健康に関する相談、近況報告、何でもお気軽にどうぞ！
大滝（保健師）

担当：高齢者に関すること
高齢者の総合相談窓口です。介護予防教室のことも相談ください。
谷井（社会福祉士）



担当：食生活に関すること
はじめまして！山北支所1年目です。皆様のお力になればと思います。
青柳（管理栄養士）

担当：黒川俣、八幡地区
はじめまして！
よろしくお願いします。
中川（保健師）

担当：大川谷地区
健康のこと何でもご相談ください。お会いするのを楽しみにしています！
小野（保健師）

山北支所地域振興課 地域福祉室 77-3113（直通）

地域の「ちょっと小話」

15年の時を経て実現「桜を楽しむ会」(越沢集落)

15年前に住民の一人が植えた桜が大きく育ち、集落のみんなで楽しみたいということで声掛けをして実現したという会。会場のテーブルとベンチは有志の手作りで用意し、お弁当以外は各自持ち寄りによる開催で、多くのごちそうが並び笑顔があふれていました。一人よりみんなで楽しむ。しかもお金をかけず、少しいアイデアと参加者の協力で無理をせず、できる事を楽しむ。この素敵な取り組みに参加した人からは、「次はいも煮をやろう！」という話も出て、新しい交流のきっかけとなっていました。



【編集・発行】

山北地区まちづくり協議会
＜事務局＞
〒959-3993 新潟県村上市府屋232番地（村上市山北支所内）
電話：0254-77-3111 FAX：0254-77-2217
メール：s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



まち協HP



まち協Facebook

買い物ツアーを各地で開催し好評です！

まちづくり協議会では支援員と連携して活動を支援しています。

今年の買い物ツアーの実績・予定

《開催内容例》

マイクロバスで集落～スーパーマーケット送迎
 指導員によるストレッチ指導やポッチャ体験
 スタッフが付き添い自由に買い物

《実績・予定》

- 令和5年4月 行先：村上市内 越沢集落・・・8人
- 令和5年6月 行先：村上市内 越沢集落・・・7人
- 令和5年6月 行先：村上市内 黒川俣地区・・・16人
- 令和5年8月 行先：村上市内 黒川俣地区 予定
 (10月、12月、2月予定)
- 令和5年5月 行先：村上市内 府屋地区・・・10人



お知らせ



イベント用品一覧

品名	貸出可能数量	品名	貸出可能数量
発電機	1台	屋外用テーブル	10台
ポップコーン機	1台	拡声器	2台
綿菓子機	1台	のぼり旗	各3枚
かき氷機	1台	タープテント	3台
たこ焼き機	2台	レジャーテーブル	4台
簡易テント	大2、小1	パイプ椅子	40脚

さんぽく子ども通信

まちづくり協議会では子どもたちの地域を学ぶ取り組みに支援をしています。
 支援を受けて取り組む事業の様子や学校行事の様子などを紹介します。



山北中学校生徒が班をまとめ、小学生と一緒に活動
 寒川、板貝海岸を清掃「クリーン作戦」

小中連携事業として、6月1日(木)に小学校4年から中学校3年生までが縦割り班となり、寒川海岸と板貝海岸に分かれて海岸清掃を行いました。

中学生のリーダーシップのもと、汗を流しながら意欲的に取り組みました。勤労の尊さや社会奉仕精神の向上はもちろんのこと、活動を通して、様々な気づきから、「自らの行動に生きたい。」という意欲が育つてほしいと感じました。

活動に参加した生徒からは「海岸に着いたとき、ゴミがあまりにも多くて、きれいにできるか心配だった」「小学生と活動できて楽しかった」「笹川流れを訪れた人に、きれいな場所だと思ってほしい」などの感想が聞かれました。

中学1年生は、5月の校外学習で加茂水族館を見学し、「海ゴミ」の問題について学んできたばかりで、実際のプラスチックゴミを目にし、環境問題について考える機会となりました。

ご協力いただきました山北コミュニティスクール運営協議会様をはじめ各団体様、子どもたちと一緒に活動して下さった地域・保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

原稿：村田教頭



さんぽく小学校では「さんぽく科」として山北を体験
 5年生の「田植え体験」、4年生の「鮭学習」

さんぽく小学校では、総合的な学習の時間を「さんぽく科」と名付けて2年目になりました。今年度も、山北地区全域を学びのフィールドに、子どもたちの学びを深めてまいります。

5年生は、5月19日に、長年お世話になっている北黒川の齋藤史典様を講師に、田植え体験をさせていただきました。当日はあいにくの雨模様でしたが、ほとんどの子どもが初めて田んぼに足を踏み入れ、土の感触を楽しみながら活動しました。山北地区の米作り(農業)について、社会科の学習とつなげて考えるよい機会となりました。今後は秋の収穫、11月のさんぽく祭での米販売を予定しています。

4年生は、7月5日に、静岡県在住の小林良晴様を講師に、鮭漁についての学習を行いました。小林様からは昨年度、八幡宮の祭礼や大雨災害前の鮭漁に関する冊子を寄贈いただきました。15年ほど前から山北地区を訪れていらっしゃるということで、夏場の鮎釣りや秋の鮭漁について等、山北地区の魅力を教えてくださいました。

4年生は、山北地区の産業や観光をテーマにさんぽく科の学習を進めています。今後につながる、貴重な学びをすることができました。

原稿：島田 歩美 教諭、山田 小百合 教諭